

〈日本 SPF 豚研究会誌〉

「All about SWINE」投稿のお願い

SPF 豚の普及に役立つ調査・研究論文および防疫、飼養、流通、消費等に関する解説・資料等の原稿を募集しております。下記要領にご留意の上、ご投稿下さい。

1. 原稿は原則としてワープロを使用してA 4用紙に横書きで作成して下さい。手書きの場合は、400字詰原稿用紙を使用して下さい。
2. 原稿の1枚目には表題（英文表題も併記）、投稿者名（ローマ字表記も併記）、所属機関名（郵便番号および住所）を記して下さい。2枚目以降の記述形式は特に定めませんが、資料等を引用した場合は末尾に「参考資料」または「引用文献」の項目を設けて下さい。
3. 表は原則として縦罫線を使用せず簡潔なものとし、また図はそのまま印刷が可能なように白色紙または方眼紙に黒色で記入して下さい。写真は原寸印刷が可能なように原則として横7cm程度、縦7cm以下として下さい。
4. 原稿の送付先は当分の間「〒305-0856 つくば市観音台3-1-5 独立行政法人・動物衛生研究所 小林秀樹」までお願いします。

〔編集後記〕

「つれづれなるまゝに、日ぐらし硯に向かひて、心にうつりゆくよしなしごとをそこはかとなく書き付くれば、あやうこそ物狂ほしけれ。」兼好法師の徒然草序段である。私の性格上「徒然」の状況にはなれないが、それに少々憧れるときもある。

隨筆家でもある兼好は硯に向かう。近代では机に向かい、現代はパソコンに向かう。筆から万年筆、そしてキーボードを叩くようになった。文字

は「書く」から「打つ」ようになった。そういえば愚息がまだ小学生低学年の頃、私がテレビのチャンネルを変えてもらおうと、「チャンネルまわして」とお願いしたら、彼は本当に意味がわからなくてリモコンをくるくる回していた。確かに手回しチャンネル式のテレビなんて20年以上前から生産されていないから、多くの若者は「チャンネルをまわす」を知らないかもしれない。余談だが、あのチャンネルノブは引っ張ると外れる。しかし、軸はペンチでも回すことが出来た。そんなこんなでチャンネル争いをしているうちにテレビのチャンネルが壊れNHKしか観られなくなってしまった。

文字を打つ時代になり、肉筆で書くことがめっきり少なくなったが、充実したステーションナリーグッズコーナーには釘付けになってしまう。そして何らかの筆記用具がまたひとつ増えていくのだ。おそらく全く使われる機会のない筆記具もあるが、「徒然」のときに役立てたいと思う。この編集後記をそんな境遇で書いてみたい。いまはまさに「あやうこそ物狂ほしけれ」である。

(小林)

「All about SWINE」
第 39 号

2011年 9月発行 定価1,500円

発行者 井上 忠 恕
 編集者 小 林 秀 樹
 発行所 日本 S P F 豚 研 究 会
 事務局 (株)伊藤忠飼料研究所
 予防衛生チーム内
 〒325-0103
 栃木県那須塩原市青木 919
 Tel : 0287 (64) 3652
 Fax : 0287 (63) 8384